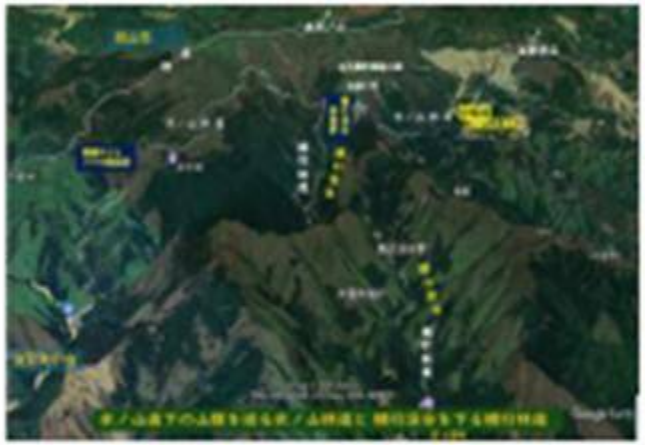
Photo Album

【風来坊 2025】【Photo Album】【スライド動画】 2025 神戸の秋

【記録】氷ノ山山頂直下の林道を巡る「氷ノ山林道 秋の自然観察会」 2025.10.30.

紅葉し始めた氷ノ山林道沿いの巨樹の森・大段ケ平・秘境 横行渓谷
























【記録】瀞川・氷ノ山林道 秋の自然観察会　2025.10.30.
氷ノ山の紅葉も随分遅れているようでしたが、兵庫にもこんなに美しいブナ林や渓谷がある
瀞川・氷ノ山林道 秋の自然観察会
2025.10.30.
氷ノ山の紅葉も随分遅れているようでしたが、
兵庫にこんなに美しいブナ林や渓谷がある



令和７年 10 月 30 日（木）　養父市・宍粟市



【行程表】

	8:00 頃	林業会館発
①	10:00 頃	『道の駅ようか但馬蔵』にて合流
②		『福定親水公園』小休止
③		『湿地環境を守ろう駅』
④		『巨木の谷駅』
⑤	11:30 頃	大段ヶ平で昼食
	（希望者は大屋町避難小屋までミニ登山）	
⑥	13:10 頃	『ブナの観察駅』周辺をウォーキング
⑦		『横行渓谷駅』周辺をウォーキング
⑧		但馬の名水『ぶなのしずく』
⑨		あゆ公園
⑩	16:00 頃	道の駅「まほろば」 休憩
	18:30 頃	三宮→林業会館到着







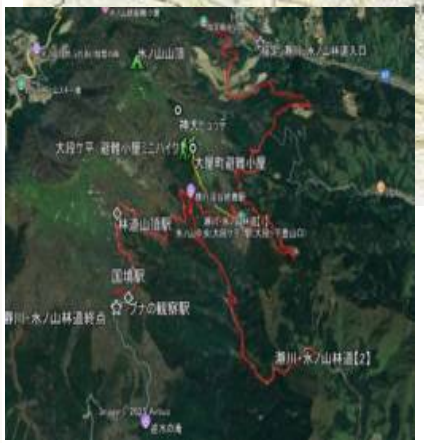




一般社団法人　兵庫県治山林道協会
〒650-0012　神戸市中央区北長狭通 5 丁目 5-18
Tel 078(371)0210　Fax 078(371)6632
http:// www.chisanrindou.jp/

紅葉の林道自然観察ウォーキング行程マップ







【添付: 兵庫県の熊対策現況情報】：今回の自然観察会でもバスの中で、熊の出没・対策情報が知らされた。兵庫県はもう２０年熊対策に取組む先進県と聞く。本年社会問題となったクマ出没の年の記録としてインターネットで調べた兵庫県の取組現況等を含め、記録添付

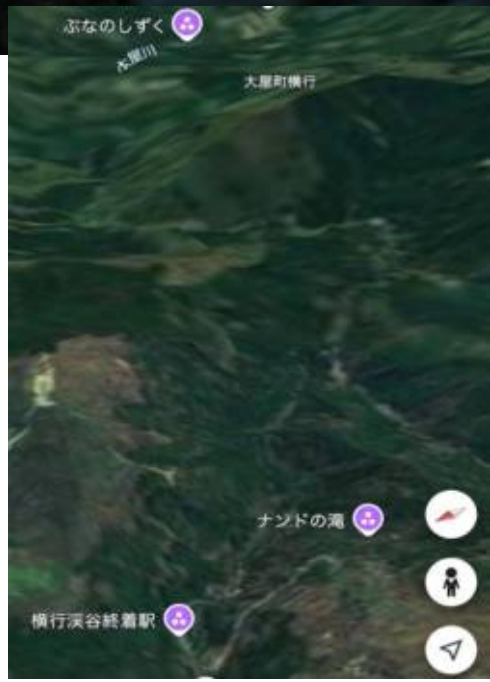


氷ノ山直下の山腹を巡る氷ノ山林道と 横行渓谷を下る横行林道

横行渓谷終着駅分岐へ向かう途中 車窓から垣間見えた横行渓谷







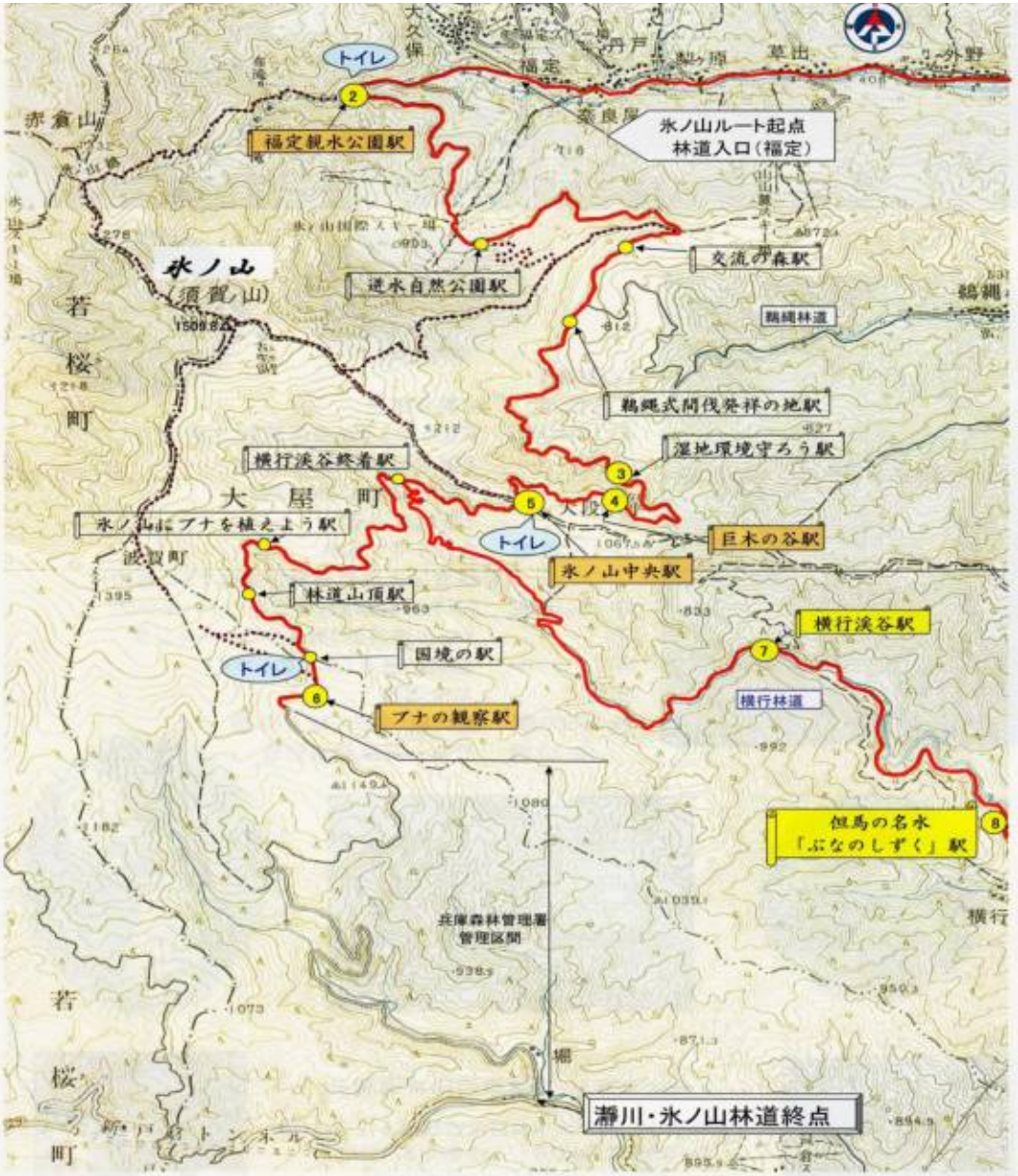
左:谷の下から上へ　　中央:横行渓谷　全体図　　右:谷の下から上へ



「兵庫県治山林業協会主催
秋の氷ノ山山腹 を巡る氷ノ山林道自然観察会
(募集定員14名)」
前回の新緑氷ノ山大段ケ平のブナ林に魅了。
秋には紅葉で一変する秋景色が見られると心待ちにしていた秋の氷ノ山林道見学会。
家内と二人幸運にも参加Okの通知。
どんな秋景色になるか胸わくわく。
また、前回 横行渓谷への林道が約２時間閉鎖され、薄暗くなりノーストップで山を下った「横行渓谷の秋」にも期待一杯。
幸いにも晴れ。マイクロバスで、神戸三宮・県庁前を出発。 8:00
途中朝来へはいると雲海が漂う中で、雲間に浮かぶ竹田城　幸先よし。
期待一杯　胸わくわく。予定時間通り、
氷ノ山林道入口 福定の里に入る。

三ノ宮-新神戸トンネル-箕谷-阪神高速北神戸線 ー
ー舞鶴若狭自動車道-春日-北近畿自動車道-養父-国道9号
ー関宮-県道87号ー福定-瀞川・氷ノ山林道入口へ

兵庫県治山林業協会主催
秋の氷ノ山山腹を巡る氷ノ山林道自然観察会
紅葉の林道自然観察ウォーキング`行程マップ















フリーのドライブは無理ハッと気が付きました。
氷ノ山山腹をめぐる氷ノ山林道は良く整備された道ですが、
残念ながら車のすれ違いが安全に出来る場所が限られている
標高約1000mレベルの山腹を縫って走る1車線林道。
ライダーたちは結構駆けているようですが、安全注意。
今回も林道協会の先導車をつけての道案内での観察会。
山麓登山道の基地に車を駐車して、ウォークが基本と。
紹介しながら安全の注意喚起。申し訳ありません。
スーパー林道は観光兼ねての林道。ご留意ください。



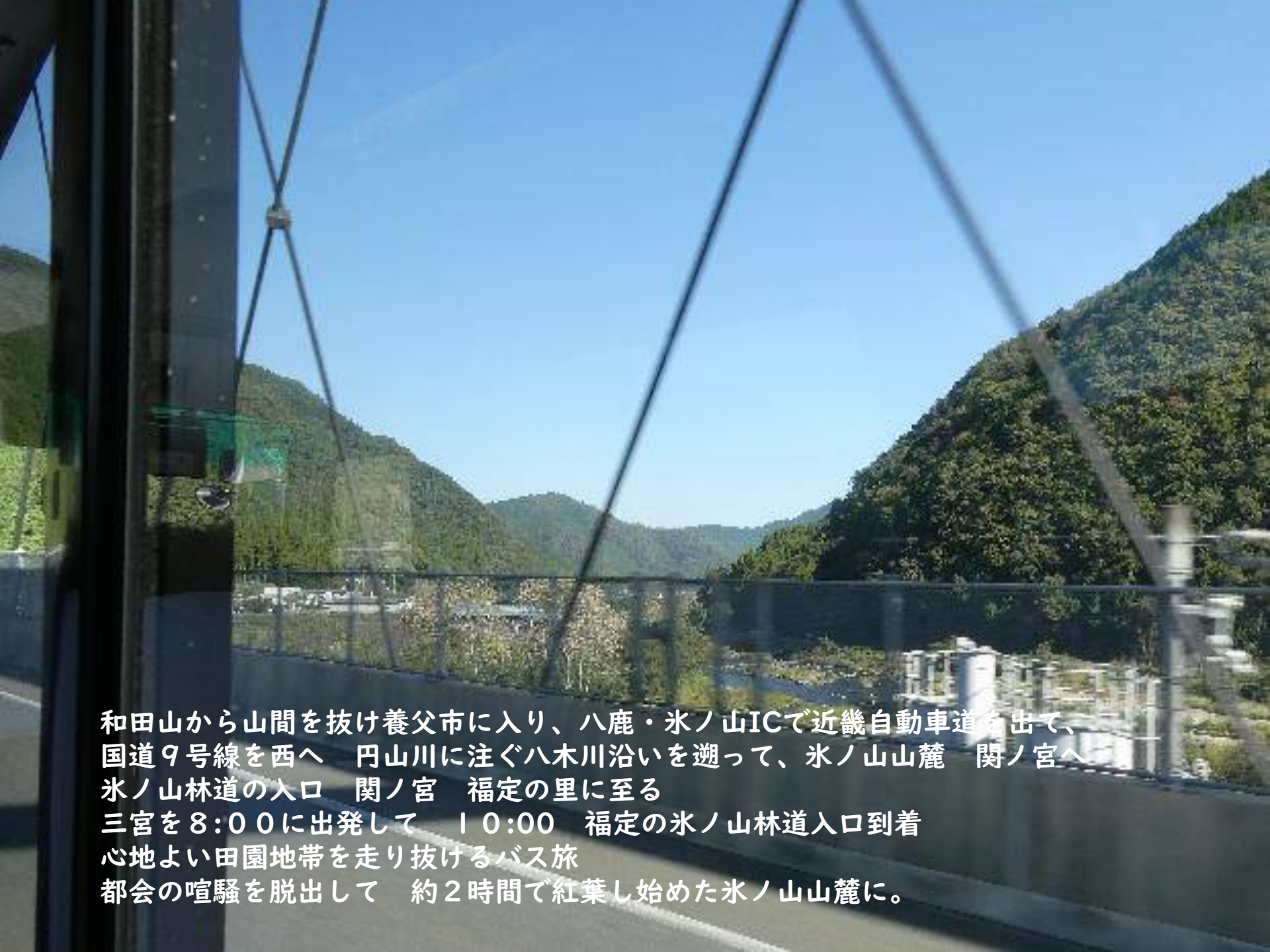
出かけられる時には行程事前検討されますよう。また熊情報にもご留意ください。　Mutsu Nakanishi





神戸三宮を出発して、約４０分　遠野坂トンネルを抜けると南但馬の和田山盆地
前方左手　茶すり山古墳の横を抜けると左手遠くに雲海に浮かぶ竹田城の姿

北近畿自動車道春日ICを過ぎ、遠野坂トンネルを抜けると南但馬。和田山盆地にはいり、前方左手　茶すり山古墳の横を抜けると和田山墓地の中央　和田山IC高架左手遠くにに雲海に浮かぶ竹田城　2025.10.30.　8:40



和田山から山間を抜け養父市に入り、八鹿・氷ノ山ICで近畿自動車道を出て、
国道９号線を西へ　円山川に注ぐ八木川沿いを遡って、氷ノ山山麓　関ノ宮へ
氷ノ山林道の入口　関ノ宮　福定の里に至る
三宮を８:００に出発して　１０:00　福定の氷ノ山林道入口到着
心地よい田園地帯を走り抜けるバス旅
都会の喧騒を脱出して　約２時間で紅葉し始めた氷ノ山山麓に。



氷ノ山山頂

福定/灘川・氷ノ山林道入口

東尾根登山口

神大ヒュッテ

大段ケ平/避難小屋ミニハイク

大屋町避難小屋

横行渓谷終着駅

林道山頂駅

青安井林道－西入口

氷ノ山中央(大段ケ平)駅(大段ケ平登山口)

青安井林道－西入口

横行林道

国境駅

ブナの観察駅

灘川・氷ノ山林道終点

横行渓谷駅

灘川・氷ノ山林道

兵庫県林業協会主催　　2025.10.30.
秋の氷ノ山山腹を巡る氷ノ山林道自然観察会


氷ノ山
福定登山口
福定
氷ノ山林道入口
養父市
氷ノ山東尾根登山口
逆水公園駅
氷ノ山国際スキー場
氷ノ山林道
氷ノ山
▲1509m
ミニ登山
大屋町避難小屋
大段ケ平
湿地環境守ろう駅
横行渓谷
終着駅
氷ノ山
中央駅
巨木の谷駅
横行渓谷駅
横行林道
宍粟市
宍粟/但馬国境駅
ブナの観察駅
氷ノ山林道
至る 戸倉峠
但馬の名水
ブナのしずく駅
横行集落・林道入口
至る県道２８号・大屋町
令和７年10月30日（木）　養父市・宍粟市
【行程表】
8:00頃　林業会館発
① 10:00頃　『道の駅ようか但馬蔵』にて合流
②　『福定親水公園』小休止
③　『湿地環境を守ろう駅』
④　『巨木の谷駅』
⑤ 11:30頃　大段ヶ平で昼食
（希望者は大屋町避難小屋までミニ登山）
⑥ 13:10頃　『ブナの観察駅』周辺をウォーキング
⑦　『横行渓谷駅』周辺をウォーキング
⑧　但馬の名水『ぶなのしずく』
⑨　あゆ公園
⑩ 16:00頃　道の駅「まほろば」休憩
16:30頃　三宮→林業会館到着



氷ノ山林道　福定の里　氷ノ山福定登山口周辺で　10:04
まだ、紅葉は始まったばかり　昨年より1週間遅らせての秋の自然観察会だと聞きましたが、紅葉にはまださらに時間がかかりそうだ。
街にいれば、なんとなく　今年の猛暑が続き、なんとなく季節感が遅れていると思うのですが、約２週間程度も秋がみじかくなっている・・???
地球の温暖化が、年々加速いるとの思いが募る。


氷ノ山林道　福定の里　氷ノ山福定登山口周辺で　10:04



氷ノ山山頂

福定/灘川・氷ノ山林道入口

東尾根登山口

神大ヒュッテ

大段ケ平/避難小屋ミニハイク

大屋町避難小屋

横行渓谷終着駅

林道山頂駅

青安井林道－西入口

氷ノ山中央(大段ケ平)駅(大段ケ平登山口)

青安井林道－西入口

横行林道

国境駅

ブナの観察駅

灘川・氷ノ山林道終点

横行渓谷駅

灘川・氷ノ山林道

兵庫県林業協会主催　　2025.10.30.
秋の氷ノ山山腹を巡る氷ノ山林道自然観察会



【インターネットで見つけた案内・紹介先　ご参考まで】本年は熊の出没が相次ぎ社会問題に。
中国山地にも熊はたくさんいますが、兵庫県は比較的熊の把握対策が進んでいると聞きますが、
ブナの実は熊の大好物　熊の情報にもご留意ください



氷ノ山国際スキー場・東尾根登山口から眺める秋の氷ノ山　2025.10.30.

バスの車窓から眺めた氷ノ山稜線部【写真合成しています】



氷ノ山国際スキー場から眺める紅葉した氷ノ山）
標高約 800 m　国際スキー場より　2025.10.30.



国際スキー場を過ぎて、森の中をさらに東へ幾つも連なる小さな谷を渡りながら氷ノ山山腹を上へ登ってゆく。標高が上がって、車窓からはブナの林が続いいて、美しい姿を見てくれている。
地図によれば、氷ノ山山頂から南東に延びる尾根筋大段ケ平の北崖の下のあたり、標高900mを超え、ブナの林に。

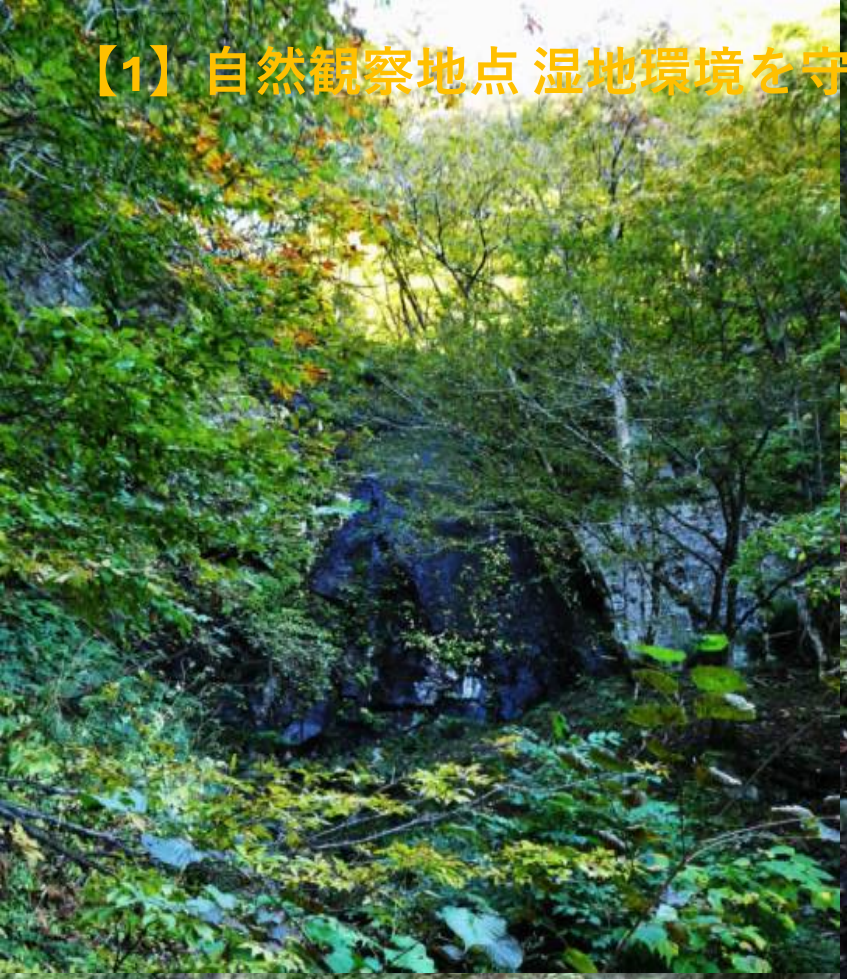




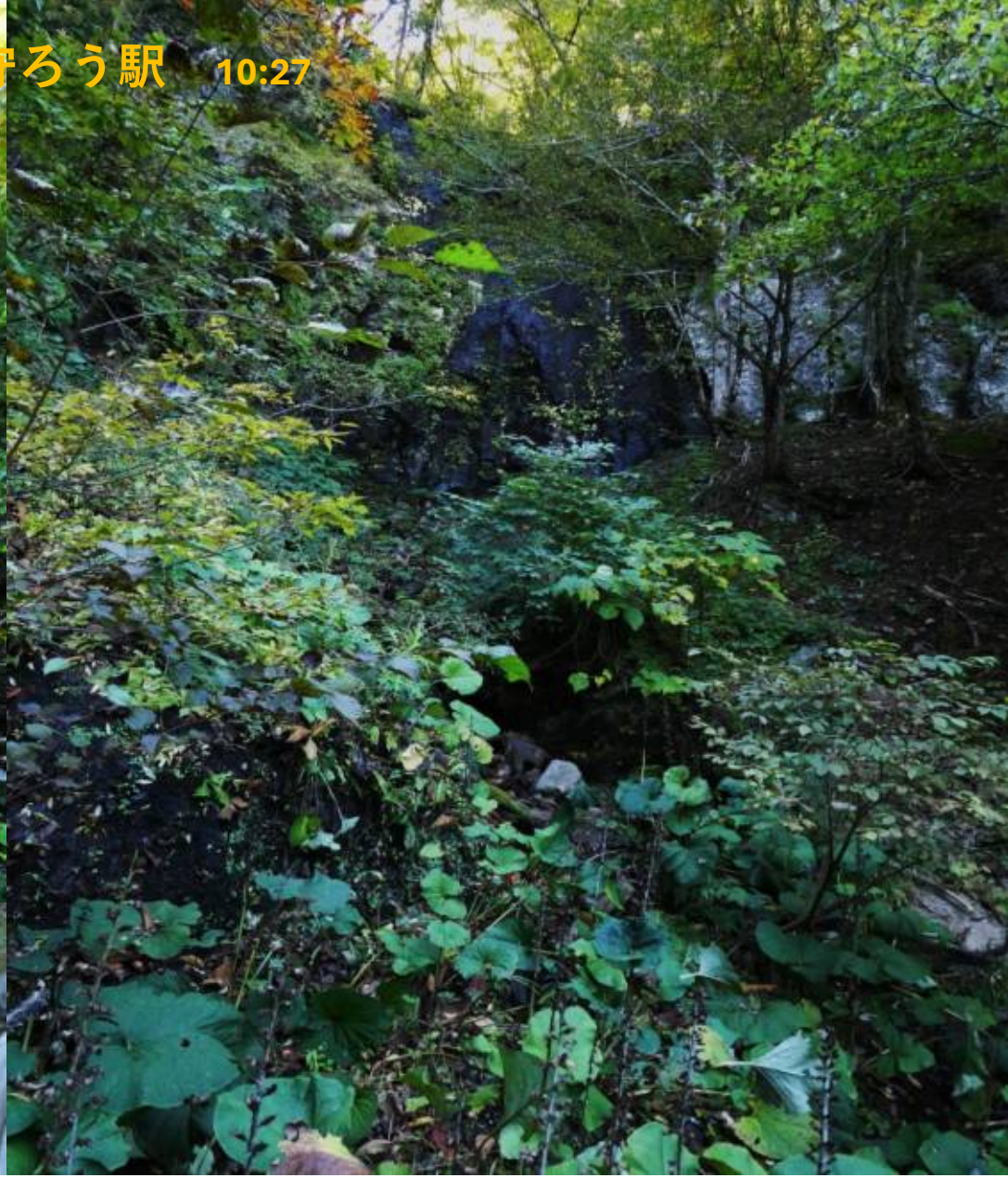


氷ノ山山頂から南東に延びる尾根筋大段ケ平の北崖の下のブナの林の中
山襞を縫って、東へ伸びる大段ケ平の先端部へ登ってゆく。
標高は900m超え、まもなく【1】自然観察地点　湿地を守ろう駅に。

【1】自然観察地点 湿地環境を守ろう駅　10:27







氷ノ山山頂直下の大岩壁から流れ落ちる水の流れが林道で断ち切られることなく道路際に沿っても動・植物が育つ自然環境がここでは保持されている事がわかり、林道維持管理にこの精神を受け継ぐことの証として、この環境守りつつ、維持管理する地点として駅名を名づけ、林道維持管理に生かしていると聞きました。



氷ノ山山頂部尾根筋を流れ下る水がこの大岩壁から流れ落ち、周囲を潤す
【1】自然観察地点　湿地を守ろう駅で



【1】すっかり秋色　樹木が色付き始めた自然観察地点　湿地を守ろう駅で
氷ノ山山頂部尾根筋を流れ下る水がこの大岩壁から流れ落ち、周囲を潤す　　2025.10.30.







【1】すっかり秋色　樹木が色付き始めた自然観察地点　湿地を守ろう駅で
2025.10.30.



【1】　樹木が色付き始めた自然観察地点　湿地を守ろう駅で2025.10.30.
氷ノ山山頂部尾根筋を流れ下る水がこの大岩壁から流れ落ち、周囲を潤し、
林道の脇にも湿潤環境を作り出している。







うまい空気を胸一杯と　少し　きょろきょろ　ちょいと風来坊

「みんなと離れぬようにと慣れぬように」とやんわりと　ごめんなさい

心せねばと　でも　風もなく静かな森の中　ほんとうに心地よし　湿地環境を鵜を守ろう駅で



【1】自然観察地点　湿地を守ろう駅で

前回の新緑の自然観察会では初めてで、ここが「自然環境を守ろう駅」なのか？とピンとこなかったのですが、今回岩壁から流れ落ちる流れが、林道で社油断されずに、林道脇にも色々種類の野草などが拡がっているのが自然なんだと。そういえば、普通林道が整備されると、道脇には、ほとんど雑草程度だなぁと。また、今回サンTVのクルーが同行していて、今回の自然観察会を取材。どんな放送が流れるのか　そっちにも興味津々。







この氷ノ山林道を維持管理する人たちの思いが、林道の各ポイントの「駅名」として、名づけられていることが、よく理解された「湿地環境を守ろう駅」。そんな目で見上げる大岩壁がある小さな谷筋が頼もしい。

地図 氷ノ山 東山腹を南北に巡る氷ノ山林道
　氷ノ山スキー場周辺 ～ 大段ケ平まで
標高の変化につれ、変わる森の植生
標高1000m超　ブナの森 大段ケ平へ









湿地環境を守ろう駅
標高 850 m超

氷ノ山
大段ケ平登山道

大段ケ平駐車場
氷ノ山大段ケ平登山口
標高1100m

巨木の谷駅
標高 1000 m



大屋川

1050
928
827
1094
1067.5
981

氷ノ山頂上近くの東山腹を巡る氷ノ山林道の等高線と記録を表記



地図を眺めると今マイクロバスが先導車の案内で走るのは、氷ノ山山頂部の東側　北から南へ弧状に急峻な崖が広がる東南尾根の東への張り出し部。この尾根筋の上がブナ林の広がる大段ケ平
この大段ケ平の北側崖にへばりついて山襞を渡りつつ登ってゆく氷ノ山林道。標高はもう800mを越えて、尾根の先端部を回り込んで、大段ケ平の上へ登ってゆく。
標高850m 湿地を守ろう駅さらに上方へ登って すぐ、林道は張出し部先端部を回り込東から西へターンして登ってゆく。樹木がさらに濃く色付く美しい森の中、標高は950mを超えて
まもなく　巨木か点在する【2】自然観察地点　巨木の谷駅に到着です。


自然観察地点　巨木の谷駅近くなって　標高 950m超　2025.10.45.



大段ケ平の張出し先端部の崖を東から西へターンして登ってゆく林道。
樹木がさらに濃く色付く美しい森の中を車窓から眺める　2025.10.30.

【2】自然観察地点　巨木の谷駅で2025.10.45.
大段ケ平の先端部を回り込んで　標高 950m超





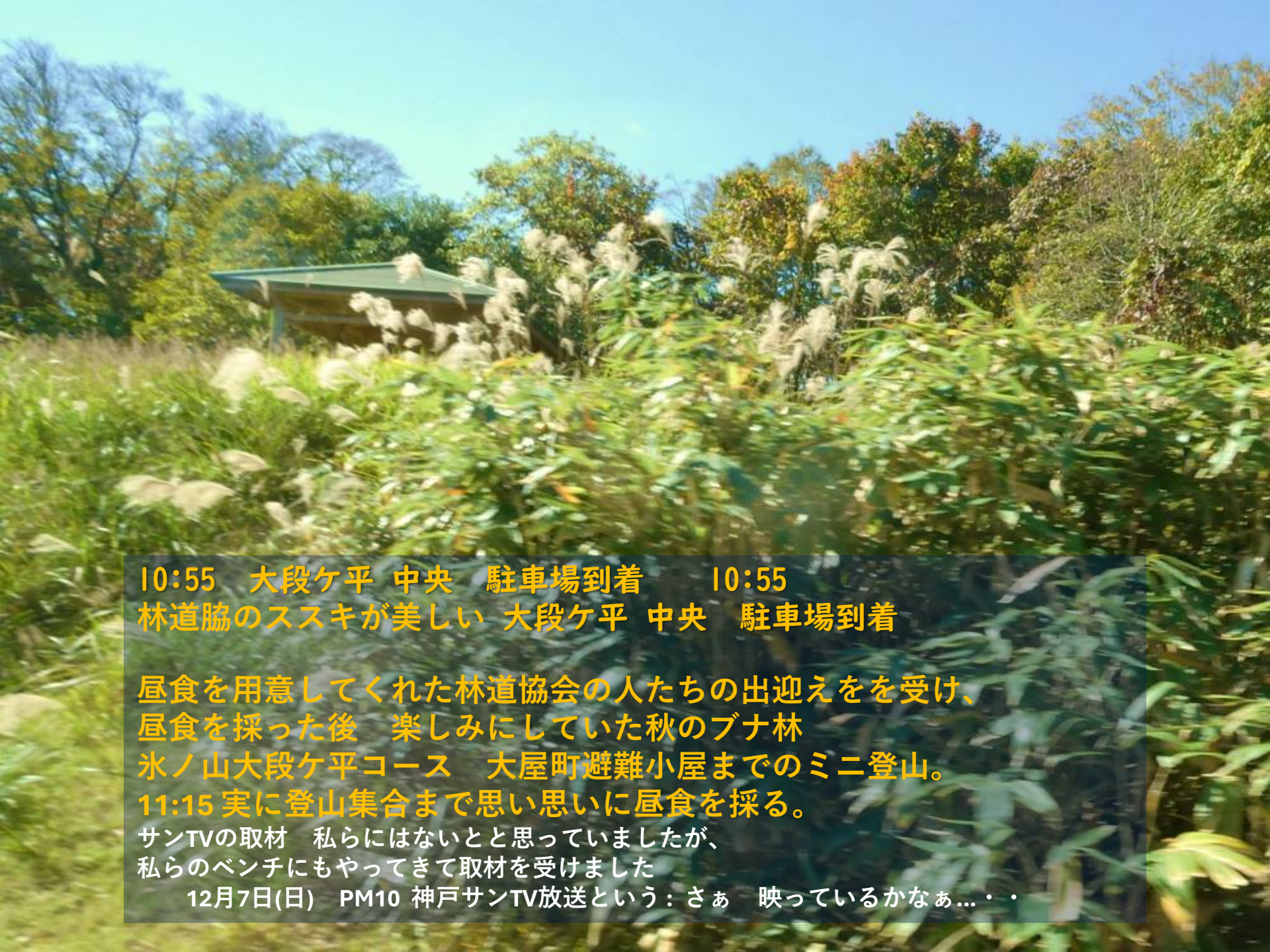




巨木の谷駅から　昼食を取る大段ケ平へ
進行方向が変わって、車窓には北側遠く鉢伏山が見えている


10:55　大段ケ平 中央　駐車場到着　林道わきのススキが
出迎えてくれました。


10:55　大段ケ平 中央　駐車場到着　　10:55
林道脇のススキが美しい 大段ケ平 中央　駐車場到着
西の正面にすっかり紅葉した氷ノ山 大段ケ平のブナの森が見える。
童話絵本のような大段ケ平の美しい秋の姿。　この中に身を置くことが出る


10:55　大段ケ平 中央　駐車場到着　　10:55
林道脇のススキが美しい 大段ケ平 中央　駐車場到着
昼食を用意してくれた林道協会の人たちの出迎えをを受け、
昼食を採った後　楽しみにしていた秋のブナ林
氷ノ山大段ケ平コース　大屋町避難小屋までのミニ登山。
11:15 実に登山集合まで思い思いに昼食を採る。
サンTVの取材　私らにはないとと思っていましたが、
私らのベンチにもやってきて取材を受けました
12月7日(日)　PM10 神戸サンTV放送という：さぁ　映っているかなぁ…・・

【3】自然観察地点

秋の氷ノ山林道ブナ林の自然観察

氷ノ山大段ケ平コースに広がるブナの森　11:15過ぎ出発

大屋町避難小屋往復のミニ登山　　約1時間30分

氷ノ山 南東尾根 ブナ林が続く大段平登山道ミニ登山で　　瀞川・氷ノ山林道 秋の自然観察会　2025.10.30.















氷ノ山林道 秋の自然観察会　ブナ林が続く大段平の秋ミニ登山




氷ノ山林道 秋の自然観察会　ブナ林が続く大段平の秋ミニ登山　2025.10.30.



氷ノ山林道 秋の自然観察会　ブナ林が続く大段平の秋ミニ登山　2025.10.30.



氷ノ山林道 秋の自然観察会　ブナ林が続く大段平の秋ミニ登山　2025.10.30.



登山道脇から垣間見える北東側
中国山地を背景にバスで駆けてきた養父の山並が並んでちょっぴり見える
氷ノ山林道 秋の自然観察会　ブナ林が続く大段平の秋ミニ登山　2025.10.30.



氷ノ山林道 秋の自然観察会　ブナ林が続く大段平の秋ミニ登山　2025.10.30.



興味はひとそれぞれ　立ち止まってはの輪ができる
氷ノ山林道 秋の自然観察会　ブナ林が続く大段平の秋ミニ登山　2025.10.30.



氷ノ山林道 秋の自然観察会　ブナ林が続く大段平の秋ミニ登山　2025.10.30.



目的地の大屋町避難小屋到着　12:08　　紅葉した樹木が美しい

氷ノ山林道 秋の自然観察会　ブナ林が続く大段平の秋ミニ登山　2025.10.30.



氷ノ山大段ケ平ルート　大屋町避難小屋から眺める中国山地の山並
遠く中央右端に養父の街が見える　20225.10.30.

西の鉢伏山から東へ連なる但馬の中国山地山並

養父

氷ノ山大段ケ平ルート　大屋町避難小屋から眺める中国山地の山並　20225.10.30.





大段ケ平　ミニ登山帰路　紅葉した大段ケ平の尾根筋が見えている　20225.10.30.



大段ケ平ミニ登山帰路　紅葉した大段ケ平ブナの森を眺めながら　20225.10.30.



大段ケ平ミニ登山帰路　紅葉した大段ケ平ブナの森を眺めながら　20225.10.30





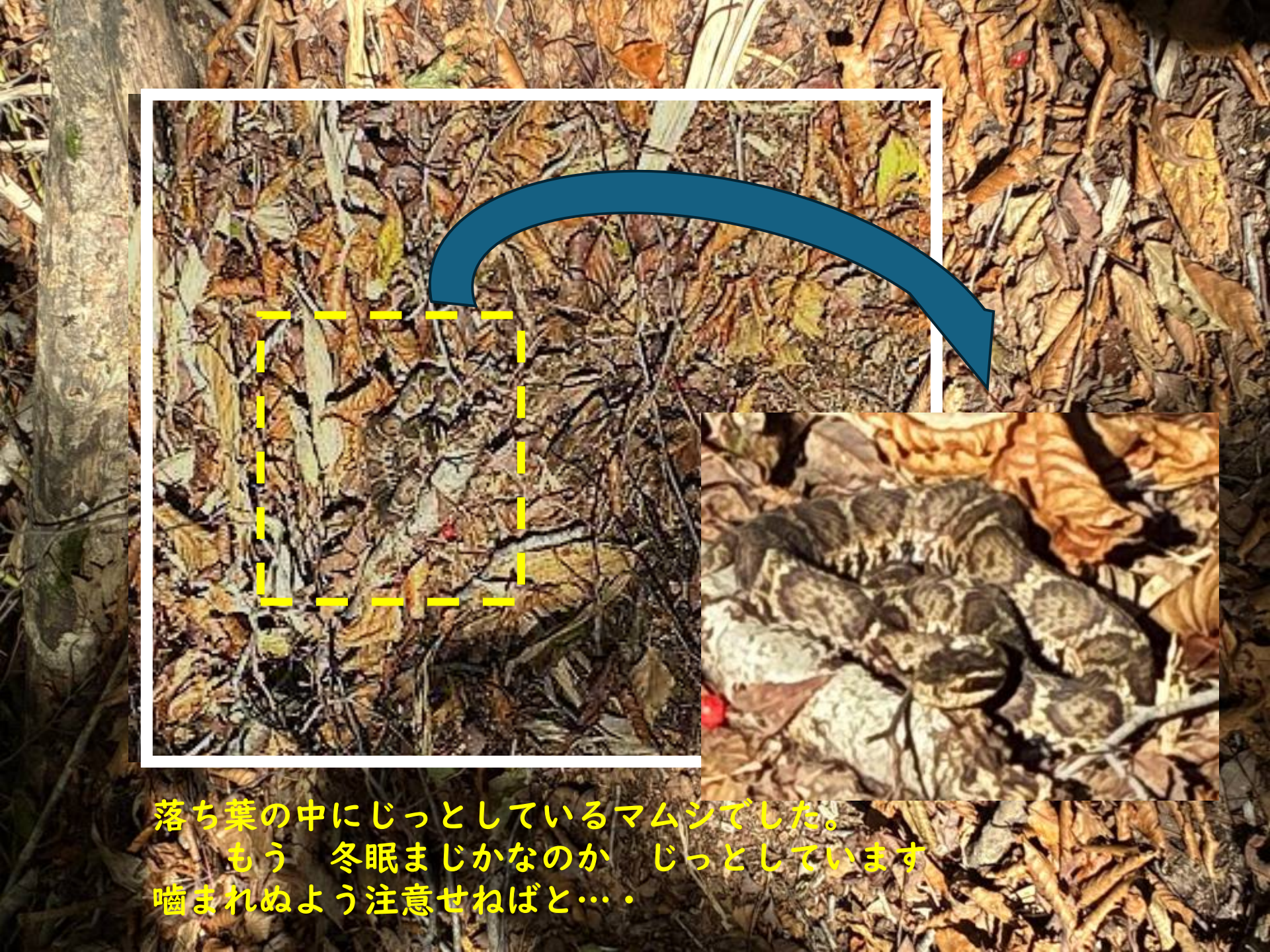


大段ケ平ミニ登山　紅葉した大段ケ平ブナの森を眺めながら　20225.10.30.



道脇の樹の落葉の中に何かいる???という

大段ケ平ミニ登山帰路　紅葉した大段ケ平ブナの森を眺めながら　20225.10.30.


落ち葉の中にじっとしているマムシでした。
もう　冬眠まじかなのか　じっとしています
噛まれぬよう注意せねばと…・



大段ケ平ミニ登山帰路　紅葉した大段ケ平ブナの森を眺めながら　20225.10.30.

ブナの林の中　いろんな樹の落葉ばの色・形・葉脈・表と裏　そして大きさも葉っぱは千差万別。
前回の自然観察会で教えてもらって、まだ、気まぐれですが、散歩中に葉っぱ観察も。
また、足元を見ればどんぐりも一杯落ちている。
前回の自然観察会で秋のドングリの殻も面白いと。
「ブナの実の殻は円形でなく、割れている」
今回も落ち葉の中でブナの殻を見つけるとうれしなったのですが「みんな去年のものだ」という。
だから、落ち葉の中にあると聞く。なるほど。
ブナはほかより実が落ちる最盛期が少し遅いのだと。
　熊の好物「ブナの実」が落ちているのを見かけるのはまだこれからと聞く。本年は大凶作という。
豆知識の自然観察会　ブナの林をぼんやり眺めているだけでは知らぬことだらけ。
知らぬ世界に興味津々です。

ブナの殻と実



どんぐりの殻と実





秋の美しいブナの森の中　ご機嫌で
私も一枚撮ってもらいました
氷ノ山大段ケ平で　2025.10.30.



紅葉にはまだちょっと早いかなあと
思った秋の自然観察会でしたが、
天候にも恵まれ、
爽やかな秋の空気を胸一杯
うれしいブナ林秋の散策。
やっぱり　ブナの林は美しい
兵庫にもこんなに静かに探索できる
美しいブナの森がある
12:50　制限時間一杯で登山口に
帰りつきました



美しい秋の大段ケ平のブナ林　爽やかな心地よい散策ができました
駐車場に戻って　氷ノ山大段ケ平を眺める　2025.10.30.



養父からバスで遡ってきた街道筋が見える
快晴で中国山地の山景色もまた格別
氷ノ山大段ケ平　駐車場より　20225.10.30.



バスで辿ってきた養父からの街道筋が見える　氷ノ山大段ケ平より　20225.10.30.





すっかり紅葉した氷ノ山 大段ケ平のブナの森。
童話の絵本から抜け出てきたような大段ケ平の美しい秋の姿。
この中に身を置くことが出たことがうれしい
“またねえ”と安請け合いはできないが、
“素晴らしい秋景色　ありがとう”
2025.10.30.　大段ケ平を後にして
次の自然観察地点【4】ブナの観察駅へ


大段ケ平を後にして次の自然観察地点へ出発
【4】ブナの観察駅へ　2025.10.30.　14:03
203
禁煙
NO SMOKING

氷ノ山林道は大段ケ平の反対側(南)の崖の下側へ回り込み、
大屋川が流れる横行渓谷の源流域までさらに遡り、横尾渓
谷を下る横行林道との分岐点(横行渓谷終着駅)に出る。
氷ノ山林道はそのまま谷を渡り、渓谷を南へ回り込んで、
氷ノ山主稜線の東山腹を南へ巡り、戸倉峠へと下っる。

マイクロバスは　標高1000mから1200mの氷ノ山林道
最高地点を越え、さらに但馬/宍粟の国境を越えて
氷ノ山林道の但馬管理区域の最東端になる
「ブナの観察駅」・「額縁のブナ」地点へ





大段ケ平の崖の下に沿って大屋川が流れる横行渓谷などの谷を渡り、氷ノ山主稜線の東山腹を南へ標高1000mから1200mの林道最高地点を越えて但馬から宍粟の国境を超え、林道但馬管理最東端の【4】自然観察地点「ブナの観察駅」での観察後、林道を引き返して、横行渓谷終着駅から横行渓谷に沿って下りつつ【5】【6】の自然観察地点での観察をして、この秋の氷ノ山林道の自然観察を終える。前新緑の観察会では1.5時間越の林道閉鎖でできなかった横行渓谷の観察も楽しみ

【4】自然観察地点　ブナの観察駅に到着　13:22
標高約1100mブナなど巨木が立ち並ぶ姿に圧倒される

氷ノ山林道の但馬管理区域の最東端になるブナの観察駅地点へ
案内板のあるこの場所のすぐ南には
四季折々ブナの巨樹の間から眺める景色が素晴しく
「額縁のブナ」と呼ばれる4本のがち並ぶ場所がある。







【4】自然観察地点　ブナの観察駅で　　2025.10.30. .　14:03

紅葉し始めたブナの巨樹が立ち並ぶ標高1100mの天空のブナの散歩道

マイクロバスを降りて、紅葉し始めたブナの森を
「額縁ブナ」と呼ばれるポイントまでの林道歩き







【4】自然観察地点　ブナの観察駅で　　2025.10.30.



紅葉し始めたブナの巨樹が立ち並ぶ標高1100mのブナの森
素晴らしいブナの森での森林浴　秋の空気を胸一杯

【4】自然観察地点　ブナの観察駅で　　2025.10.30.
立ち並ぶブナの巨樹の間から四季折々眺める山景色が素晴しい
「額縁のブナ」と呼ばれるスポットまで自然観察walk



【4】自然観察地点　ブナの観察駅で　　2025.10.30.
紅葉し始めたブナの巨樹が立ち並ぶ姿にみんな見とれている



【4】自然観察地点　ブナの観察駅で　　2025.10.30.







【4】自然観察地点　ブナの観察駅　「額縁のブナ」で　2025.10.30.



【4】自然観察地点　ブナの観察駅　「額縁のブナ」で　2025.10.30.



【4】自然観察地点　ブナの観察駅　「額縁のブナ」で　2025.10.30.



【4】自然観察地点　ブナの観察駅　「額縁のブナ」



しばし、周囲の景色を眺めた後はお気に入りの巨樹に近づいて上を見たり、
下を見たり、　あっちを向いたりこっちを見たり、みんなそれぞれのスタイルで
【4】自然観察地点　ブナの観察駅　「額縁のブナ」で　2025.10.30.







巨樹の根元の空洞の中ににキノコが…
これも森の中の秋景色
【4】自然観察地点　ブナの観察駅
「額縁のブナ」で　2025.10.30.



巨樹の中にできた空洞にキノコが……
【4】自然観察地点　ブナの観察駅　「額縁のブナ」で　2025.10.30.



私は見上げるブナに取り付いてデジカメで　パチリ・パチリと・・・・
「額縁のブナ」で　2025.10.30.







私は見上げるブナに取り付いて
デジカメでパチリ・パチリと・・・・
【4】自然観察地点　ブナの観察駅
「額縁のブナ」で　2025.10.30.



「額縁のブナ」で　2025.10.30.



「額縁のブナ」前で 自然観察会参加者記念撮影　撮影している側をパチリ 2025.10.30. 13:55.
先導案内をしてもらった治山林業協会但馬の人たち& サンTV取材の人たち



本当に素晴らしい秋景色「額縁のブナ」の森の独り占め
ここでもうまい空気を胸一杯吸いこんでいよいよ今日の自然観察の最
終地点　楽しみな「横行渓谷」に向かう　13:40

【5】＆【6】横行渓谷渓谷の自然観察へ

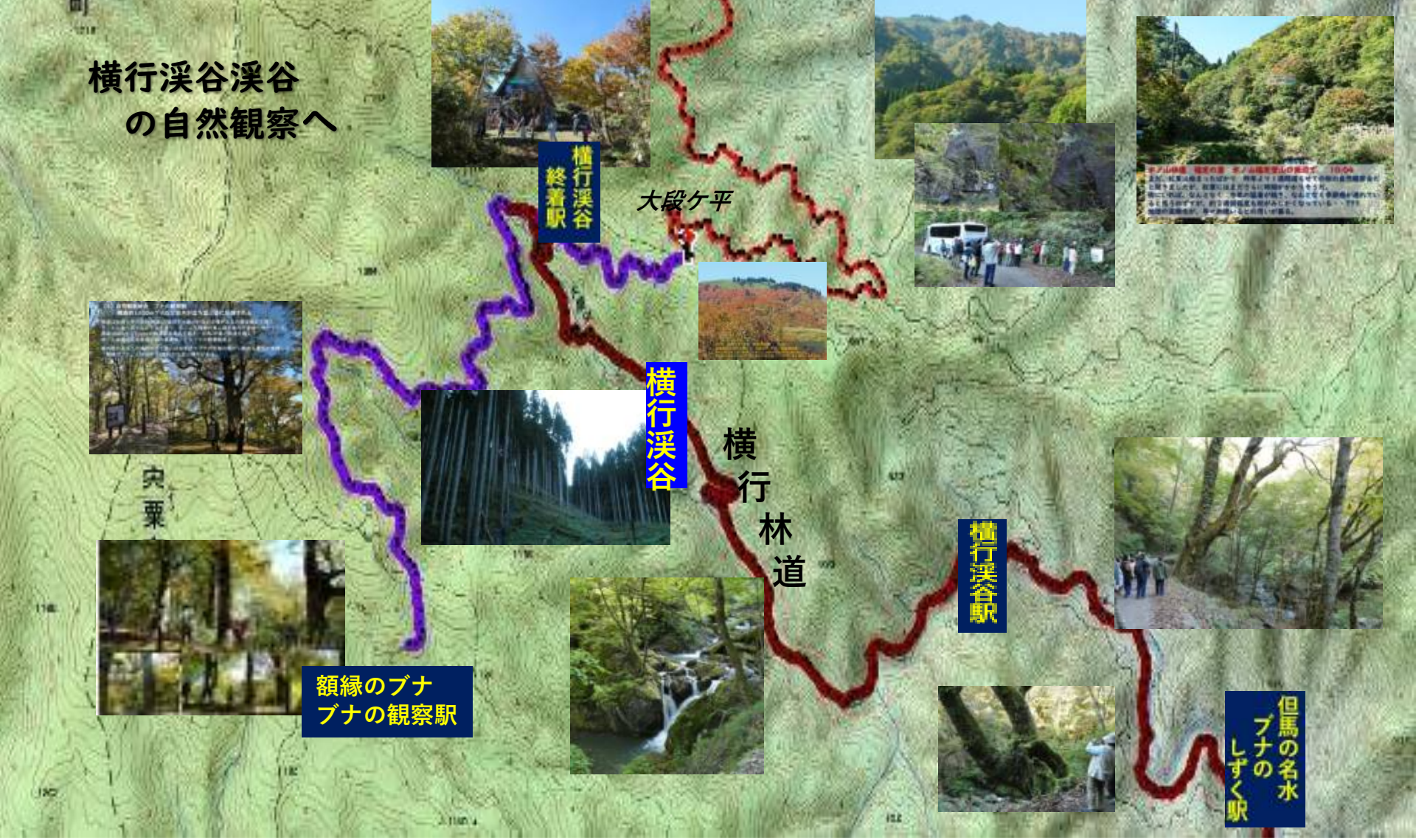








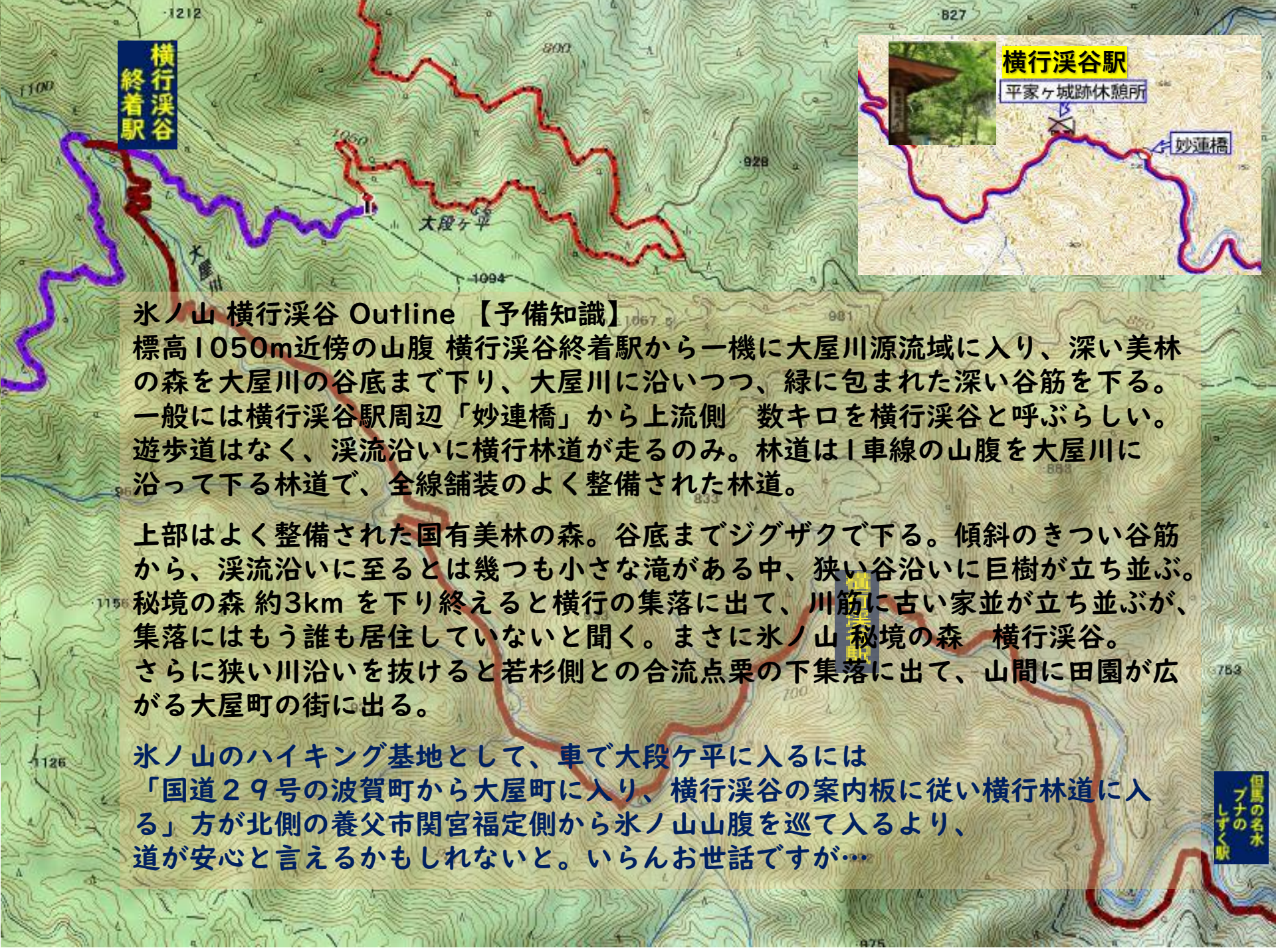




【5】【6】紅葉した横行渓谷渓谷の自然観察へ　2025.10.30.　13:40

ブナの観察駅 「額縁のブナ」から林道を横行渓谷終着駅分岐まで引き返し、そこから大屋川源流に沿って下る「横行林道」。前回見れなかった大屋川渓流沿いの横行渓谷の自然観察へ
紅葉し始めた渓谷を下りつつ、自然観察観察をして、今回の秋の氷ノ山林道の自然観察を終える。
前新緑の観察会では1.5時間越の林道閉鎖で出来なかった横行渓谷の観察が楽しみ楽しみです


福定親水公園駅
氷ノ山林道入口
横行渓谷
終着駅
大段ケ平
横行渓谷
額縁のブナ
ブナの観察駅
横行渓谷駅
トイレ
福定親水公園駅
氷ノ山ルート起点
林道入口(福定)
氷ノ山
(須賀山)
交流の森駅
逆水自然公園駅
鶏縄林道
鶏縄式開代発祥の地駅
湿地環境守ろう駅
横行渓谷終着駅
大段
大屋町
氷ノ山にブナを植えよう駅
巨木の谷駅
氷ノ山中央駅
林道山頂駅
横行渓谷駅
国境の駅
ブナの観察駅
横行林道
但馬の名水
「ぶなのしずく」駅
若桜町
波賀町
森の中の渓谷を標高1050 mから750 まで一機に下る横行渓谷



氷ノ山 横行渓谷 Outline 【予備知識】
標高1050m近傍の山腹 横行渓谷終着駅から一機に大屋川源流域に入り、深い美林の森を大屋川の谷底まで下り、大屋川に沿いつつ、緑に包まれた深い谷筋を下る。
一般には横行渓谷駅周辺「妙連橋」から上流側　数キロを横行渓谷と呼ぶらしい。
遊歩道はなく、渓流沿いに横行林道が走るのみ。林道は1車線の山腹を大屋川に沿って下る林道で、全線舗装のよく整備された林道。

上部はよく整備された国有美林の森。谷底までジグザクで下る。傾斜のきつい谷筋から、渓流沿いに至るとは幾つも小さな滝がある中、狭い谷沿いに巨樹が立ち並ぶ。
秘境の森 約3km を下り終えると横行の集落に出て、川筋に古い家並が立ち並ぶが、集落にはもう誰も居住していないと聞く。まさに氷ノ山 秘境の森　横行渓谷。
さらに狭い川沿いを抜けると若杉側との合流点栗の下集落に出て、山間に田園が広がる大屋町の街に出る。

氷ノ山のハイキング基地として、車で大段ケ平に入るには
「国道２９号の波賀町から大屋町に入り、横行渓谷の案内板に従い横行林道に入る」方が北側の養父市関宮福定側から氷ノ山山腹を巡て入るより、
道が安心と言えるかもしれないと。いらんお世話ですが…



【5】【6】紅葉した横行渓谷渓谷の自然観察へ
ブナの観察駅 「額縁のブナ」から林道を横行渓谷終着駅分岐まで戻る
紅葉し始めた森が心地よし　2025.10.30



【5】【6】紅葉した横行渓谷渓谷の自然観察へ
ブナの観察駅 「額縁のブナ」から林道を横行渓谷終着駅分岐まで戻る
遠く中国山地の山並を背に　眼下の美しい杉の美林越しに
左に大段ケ平の山腹の横行渓谷が見える　2025.10.30



【5】【6】紅葉した横行渓谷渓谷の自然観察へ
ブナの観察駅 「額縁のブナ」から林道を横行渓谷終着駅分岐まで戻る
2025.10.30



【5】【6】紅葉した横行渓谷渓谷の自然観察へ
ブナの観察駅 「額縁のブナ」から林道を横行渓谷終着駅分岐まで戻る
2025.10.30



【5】【6】紅葉した横行渓谷渓谷の自然観察へ
ブナの観察駅 「額縁のブナ」から林道を横行渓谷終着駅分岐まで戻る
紅葉した大段ケ平の山腹が見える
まもなく　氷ノ山林道と横行渓谷の分岐点に至る2025.10.30








ひょうごの屋根・緑の回廊（氷川・氷ノ山林道、氷ノ山ルート）

⑧横行渓谷終着駅について

養父市大屋町横行集落を起点とし、美しい横行渓谷に沿って走る「横行林道」の終点（本林道との接続点）です。ここには、旧大屋町によって設置された休憩小屋があります。

大段ヶ平からいったん横行川に向かって標高を下げてきた本林道は、この分岐を過ぎ三ツ滝橋を渡ってから、再び標高を上げてゆきます。

すぐ近くには、「三ツ滝」の散策道入口があり、入口から川沿いに約300m上流に歩けば滝を見ることが出来ます。

この場所は

指定起点より	標高	（前駅）	徒歩での所要時間		（次駅）
13.6 km	1,020 m	⑦氷ノ山中央（大段ヶ平）駅	30分 1.1 km	⑧［当駅］	70分 2.4 km ⑨氷ノ山に ブナを植えよう駅

氷ノ山林道と横行林道の分岐点　横行渓谷終着駅　　google Eathで
ここから横行林道　大屋川源流部の杉の美林の中を一機に横行渓谷の谷底へ下ってゆく　2025.10.30.



横行（よこいき）渓谷　養父市大屋町

養父市大屋町側からの氷ノ山登山ルートである大段ケ平 への道中にある渓谷。
大屋川の源流は、横行渓谷に沿って氷ノ山まで続いています。
四季折々の自然豊かな景 観が楽しめるコースで、特に新緑と紅葉は見事です。
また、平家滅亡のロマンを秘めた渓谷でもあり、渓谷沿いには「平家ヶ城跡」
「姫が淵（ひめがぶち）」といった平家伝説にまつわる岩盤や淵があります。



支流滝



一の渡しの滝



ノースツアー レクリエーション センター



乙女滝



鵜川・横行林道は一車線ながら舗装整備された一車線林道で標高800mを越える本線では美しいブナの森が広がっているのに対し、林立する杉の美林に覆われた森が渓谷に沿って続く。
今回おもわぬトラブルで、車窓からの自然観察のみとなり、杉の美林と大屋川の渓谷が織りなす景色を存分観察できず。インターネットで得た資料なども加え横行渓谷の記録をまとめました。
前新緑の氷ノ山林道自然観察会の資料より

横行林道概要 (1) 美しい杉林の 横行渓谷上部









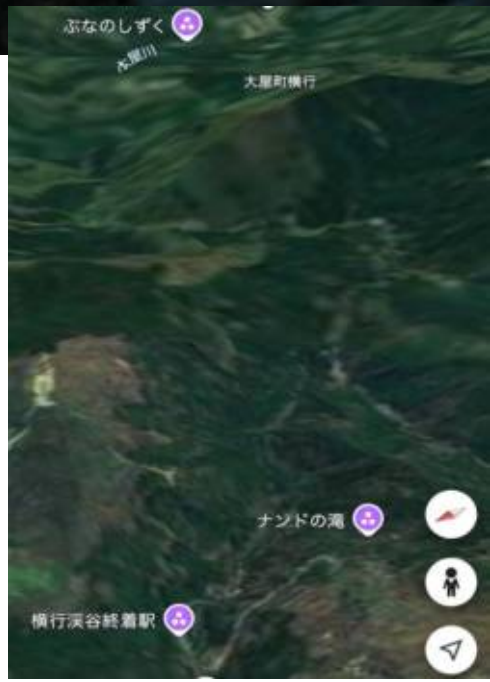
PhotoはGoogle Earth　前新緑の氷ノ山林道自然観察会の資料より

標高1000m近傍の横行渓谷終着駅から横行ケ林道に入ると周囲は杉の森が続く深い森。
マイクロバスは杉林の中をジグザクに下って、渓流沿いに出て、両側を高い山腹に挟まれた狭い渓流沿いを一機に下って、次の自然な観察地点【5】横谷渓谷駅へ。林道の入口からの高低差約 450m
渓谷の真ん中　標高約550 mの横谷渓谷駅まで空が見えぬまま。「秘境」の言葉が頭に浮かぶ横行渓谷

横行渓谷終着駅分岐へ向かう途中 車窓から垣間見えた横行渓谷







左:谷の下から上へ　　中央:横行渓谷　全体図　　右:谷の下から上へ



氷ノ山直下の谷 横行渓谷を下る横行林道

氷ノ山直下から一機に山の隙間を縫って下る横行渓谷　まさに氷ノ山「秘境の谷」
水しぶきを上げる大屋川に沿って横行林道が下る。興味津々の谷筋です








横行林道　大屋川源流部の杉の美林の中を一機に横行渓谷の谷底へ下ってゆく
林道は一車線ながらの完全舗装でマイクロバスも軽快に下ってゆく　2025.10.30.



マイクロバスから眺める美しい美林が続くこの横行渓谷の杉林は国有林で、横行林道も大屋町から
この国有林の維持管理のために建設された経緯がある林道なので整備が良いのだという。
氷ノ山林道分岐から、次の自然観察地　渓流沿いの「横行渓谷駅」まで20分ほど
あっという間に山腹を下って深い森の中へ
山腹をジグザクに谷底の大屋川の渓流沿いへ下る横行林道上部　2025.10.30.



【5】自然観察地点　横行渓谷駅　　2025.10.30. 14:10

秘境 横尾渓谷沿い林道から渓谷の自然観察
標高約1100m 横行渓谷最上部から美林の森を一機に標高約750 mの谷底
大屋川1が流れ下る横行渓谷 谷底におりて

まだ午後2時過ぎというのに、陽が差し込まぬ渓谷の中深い緑の森の中
この谷の上 の山腹　氷ノ山林道や大段ケ平では紅葉が始まっているのに、緑一色、
紅葉はまだこれから。
写真で見る横行渓谷は真っ赤に紅葉した渓谷
本年はやっぱり異常な気象の中にあるのだと勝手に納得です。
でも、久しぶりに秘境と呼ばれる渓谷のうれしいWalk
川の流れる音が清々しい　この音　本当に久しぶりと











2025.10.30. 14:10

【5】自然観察地点　横行渓谷駅　秘境　渓谷沿い林道から渓谷の自然観察



2025.10.30.
【5】自然観察地点　横行渓谷駅　秘境　渓谷沿い林道から渓谷の自然観察







2025.10.30.

【5】自然観察地点　横行渓谷駅　秘境　渓谷沿い林道から渓谷の自然観察



2025.10.30.
【5】自然観察地点　横行渓谷駅　秘境　渓谷沿い林道から渓谷の自然観察



2025.10.30.
【5】自然観察地点　横行渓谷駅　秘境　渓谷沿い林道から渓谷の自然観察
氷ノ山直下の深い谷　渓流の岩肌にみんな苔が乗っかって美しい。
雨が多い深い谷なんだと



2025.10.30.
【5】自然観察地点　横行渓谷駅　秘境　渓谷沿い林道から渓谷の自然観察



2025.10.30.
【5】自然観察地点　横行渓谷駅　秘境　渓谷沿い林道から渓谷の自然観察



2025.10.30.
【5】自然観察地点　横行渓谷駅　秘境　渓谷沿い林道から渓谷の自然観察
みんなこの樹の周辺に集まってまてきた　何だろう



2025.10.30.

【5】自然観察地点　横行渓谷駅　秘境　渓谷沿い林道から渓谷の自然観察
苔むした巨樹の根元に穴が開いている　また幹にも植物か張り付いている







2025.10.30.

【5】自然観察地点　横行渓谷駅　秘境　渓谷沿い林道から渓谷の自然観察
苔むした巨樹の根元に穴が開いている　また幹にも植物か張り付いている


「ジンジソウ」という珍しい花に出会いました
横行渓谷の巨樹の苔の中で巻き付いて





「ジンジソウ・人字草」日本固有種　花言葉:「絆」「秘めた恋」「博愛心」など

何とも不思議な形をした「ジンジソウ(人字草)」は、ユキノシタ科ユキノシタ属の多年草。
関東地方以西から九州にかけて分布し、山地の渓流沿い、日陰の斜面や岩上などに生育。
花期は9月から11月で、白い花弁が5枚あり、2枚が極端に長い不均等な形をしています。
この2枚が漢字の「人」の字に見えることが、花名の由来。

【5】横行渓谷駅付近で　2025.10.30.







【5】自然観察地点　横尾渓谷駅　秘境 横行渓谷沿い林道から渓谷の自然観　2025.10.30.

【6】自然観察地点　「ぶなのしずく駅」　2025.10.30.　14:41



ブナ林のある氷ノ山（標高1,510m）の麓に
湧き出る微生物にも有機物にも汚染されていない
極めて綺麗な水。
適度なミネラル分を含み、癖のないやわらかい味で
水温は12℃位。
また、養父市特産の銘酒「仙櫻」に養父市で栽培さ
れた酒米山田錦、蛇紋岩米とともに利用されています
養父市近郊協会案内より

ペットボトルに1本持ち帰って、水道水と飲み比べ
やっぱりまろやか　おいしいかった???・・・・・



Google Earth より　横行渓谷の出口で　　大屋町側からの横行林道の起点標識

湧水「ぶなのしずく」から杉林の中を少し下ったところにバスの方向転換広場があり、その横に「林道横行線起点」の標識がありました。この広場に沿う坂道を下ると流れ下る大屋川の両岸に沿う養父市横行集落。
本当に山深い瀞川氷ノ山林道　いろんな新しい経験ができた秋の氷ノ山自然観察会の一日になりました

2025.10.30. 氷ノ山林道　秋の自然観察会の一日を振り返りつつ山を下る



横行渓谷を抜けて、大屋川の両側に広がる横行集落を抜けて最終終結地大屋町の鮎公園へ
もう夕暮れまじかですが、まだまだ山間　大屋川に沿って下る。



山間の道から２車線の広い県道２８号に出る中間地区栗ノ下の十字路
右:若杉峠越で波賀町 戸倉・宍粟市へ　左:養父市大屋町　但馬と宍粟を結ぶ 県道２８号線
原チャリや車で何度か通過の県道２８号線　でも　もう記憶はあやふやです

「秘境　氷ノ山横行渓谷」とのイメージがふと頭をよぎる横行渓谷
深い狭い谷筋で、日影が多く、10月末にもかかわらずまだ緑一杯の谷筋
真っ赤に紅葉した谷をイメージしていましたが、緑一杯の渓谷。
谷の上部は植林された樹木が立ち並ぶ森そして林道が渓谷に沿って走る
中・下部は大屋川が流れ下る緑の渓谷。
氷ノ山を背に狭い谷筋が入口も出口も狭く閉ざされていて、
それが温暖多雨で湿気の多い暖かさを生んで、
モミジの秋を遅らせるのかも
ふと頭に浮かんだ「秘境」のイメージ
紅葉の渓谷の印象はありませんでしたが、
水しぶきを上げて流れ下る深山の渓谷を久しぶりに歩けた
満足感　それに林道歩きで発見したたくましい巨樹との出会い
うれしい秋の自然観察になりました
この氷ノ山の大平ケ平・横行渓谷周辺の地理もほぼわかったので、
再度秋　紅葉の横行渓谷にも行きたいと。
うれしい秋の自然観察会　今回も満足感一杯で山を下る。









山間の道から２車線の広い県道２８号に出る中間地区栗ノ下の十字路

右:若杉峠越で波賀町 戸倉・宍粟市へ　左:養父市大屋町　但馬と宍粟を結ぶ 県道２８号線

原チャリや車で何度か通過の県道２８号線　でも　もう記憶はあやふやです

マイクロバスに揺られながら自然観察会の一日を思い浮かべつつ、帰路に





【1】自然観察地点　湿地を守ろう駅

紅葉の林道自然観察ウォーキング行程マップ





【4】自然観察地点　ブナの観察駅
標高約1100mブナなど巨木が立ち並ぶ姿に圧倒される

林道は大段ケ平の反対側(南)の崖の下大屋川が流れる横行渓谷の源流域まで遡り、
そこから南へ回り込んで谷を渡り、氷ノ山主稜線の東山腹を南の戸倉峠へ伸びている。
標高1000mから1200mの林道最高地点を越え、但馬/宍粟の国境を越えて
氷ノ山林道の但馬管理区域の最東端になるブナの観察駅地点

案内板のあるこの場所のすぐ南には四季折々ブナの巨樹の間から眺める景色が素晴しく
「額縁のブナ」と呼ばれる4本のがち並ぶ場所がある。

Photo Album

瀞川・氷ノ山林道 秋の自然観察会の記録　2025.10.30.

氷ノ山 南東尾根 ブナ林が続く大段平登山道ミニ登山で　瀞川・氷ノ山林道 秋の自然観察会　2025.10.30.















灘川・氷ノ山林道 秋の自然観察会　ブナ林が続く大段平登山道2025.10.30.



「額縁のブナ」で　2025.10.30.



「額縁のブナ」前で 自然観察会参加者記念撮影 撮影している側をパチリ 2025.10.30. 13:55.
先導案内をしてもらった治山林業協会但馬の人たち& サンTV取材の人たち



私は見上げるブナに取り付いてデジカメで　パチリ・パチリと・・・・
「額縁のブナ」で　2025.10.30.



「額縁のブナ」で　2025.10.30.



【4】自然観察地点　ブナの観察駅　「額縁のブナ」で　2025.10.30.







瀞川氷ノ山林道秋の自然観察会　横行渓谷　栃の木　2025.10.30.、
渓谷に桂の木が何とも言えぬ　いい香りを漂わせていました

横行渓谷渓谷の自然観察へ


横行渓谷終着駅

大曽ケ平












横行渓谷

横行林道




緑のブナ
ブナの観察駅



横行渓谷駅



但馬の名水
ブナのしずく駅


横行林道概要 (1)美しい杉林の横行渓谷上部







Photo以Google Earth　前新緑の氷ノ山林道自然観察会の資料より





ジソウ・人字草」日本固有種　花言葉:「絆」「秘めた恋」「博愛心」など

不思議な形をした「ジンジソウ(人字草)」は、ユキノシタ科ユキノシタ属の多年草。
方以西から九州にかけて分布し、山地の渓流沿い、日陰の斜面や岩上などに生育。
9月から11月で、白い花弁が5枚あり、2枚が極端に長い不均等な形をしています。
枚が漢字の「人」の字に見えることが、花名の由来。
【5】横行渓谷駅付近渓谷で　2025.10.30.









今日も一日Good Day!!
みんなみんな　ありがとう
Mutsu Nakanishi
2025.10.30. 夕

大屋川の土手にある大屋町鮎公園駐車場で　みんな帰路準備
養父のサポート部隊ともここでお別れ　神戸へ　2025.10.30.夕



氷ノ山直下の山腹を巡る氷ノ山林道と 横行渓谷を下る横行林道



氷ノ山国際スキー場から眺める紅葉した氷ノ山）
標高約 800 m　国際スキー場より　2025.10.30.



令和７年 10 月 30 日（木）　養父市・宍粟市



【行程表】

	8:00 頃	林業会館発
①	10:00 頃	『道の駅ようか但馬蔵』にて合流
②		『福定親水公園』小休止
③		『湿地環境を守ろう駅』
④		『巨木の谷駅』
⑤	11:30 頃	大段ヶ平で昼食
		（希望者は大屋町避難小屋までミニ登山）
⑥	13:10 頃	『ブナの観察駅』周辺をウォーキング
⑦		『横行渓谷駅』周辺をウォーキング
⑧		但馬の名水『ぶなのしずく』
⑨		あゆ公園
⑩	16:00 頃	道の駅「まほろば」 休憩
	18:30 頃	三宮→林業会館到着









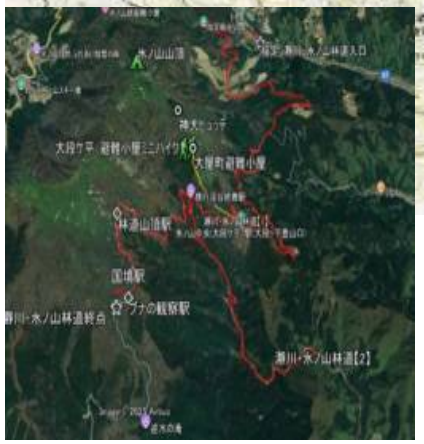


一般社団法人　兵庫県治山林道協会

〒650-0012　神戸市中央区北長狭通 5 丁目 5-18
Tel 078(371)0210　Fax 078(371)6632
http:// www.chisanrindou.jp/

紅葉の林道自然観察ウォーキング行程マップ







【別添: 兵庫県の熊対策現況情報】: 自然観察会でもマイクロバスの中で、熊の出没・対策情報が動画で解説されましたので参考になれば。兵庫県はもう２０年熊対策に取組む先進県と聞く。
本年社会問題となったクマ出没の年の記録としてインターネットで調べた兵庫県の取組現況等を含め別添。
また、車で林道は道幅狭く安全上単独で入るのは厳しい。どうか事前に地元情報等お集めください

うれしい秋の自然観察会　満足感一杯で山を下る。
この氷ノ山の大平ケ平・横行渓谷周辺の地理もほぼ頭に入ったので、
秋　紅葉で真っ赤になった横行渓谷をいつか訪ねたいなぁ・・と。

私の風来坊walk も本年の自然観察会に参加させていただき随分変わりました。
今までは、海・山・里・街を好奇心一杯できょろきょろの風来坊
それが、樹木や花にへばりついて、葉っぱを見たり、根元を見たり、ポケットにも・・・
まねてみると面白い発見も。 随分変わりました。
風来坊にとっては　うれしい街歩き・山歩きの道具を手に入れたと。
好奇心いっぱいで　老いを元気にと。

自然観察会のスタッフの皆さんには
準備から案内　そして安全まで　隅々まで目配りしていただき　ほんとうに感謝です
また、同道した仲間の皆様にもありがとう
今日も一日 Good Day!!
みんなみんな　ありがとう
2025.10.30. 夕
2025年秋の氷ノ山林道自然観察会に参加して、
20225. 11月　From Kobe Mutsu

本年秋は熊による事故多発し、山や里歩きにも十分な警戒が必要に
本自然観察会でもスタッフのみなさんに随分お世話になり、また、帰路のマイクロバスの中で
兵庫県20年にわたる熊対策の取組現状動画も上映
Webで調べた資料ふくめて、兵庫県の熊対策の現況を別添しましたので、ご参考まで

参考：【記録】新緑の瀞川・氷ノ山林道　新緑の林道自然観察Walk　2025.5.29.
【スライド動画】https://infokkkna2.com/ironroad2/2025htm/2025walk/25walk13.mp4
【web File】https://infokkkna2.com/ironroad2/2025htm/2025walk/25walk13.pdf